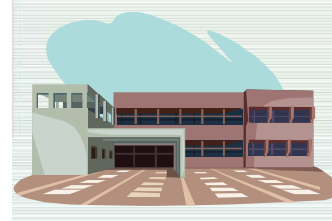


令和元年度 指定管理者モニタリング評価結果

令和元年度に指定管理制度を適用した全施設
(評価対象：95グループ346施設)

指定管理者選定委員会事務局
(公共施設マネジメント推進課)



1 モニタリングの目的等 (長野市指定管理者制度ガイドラインより)

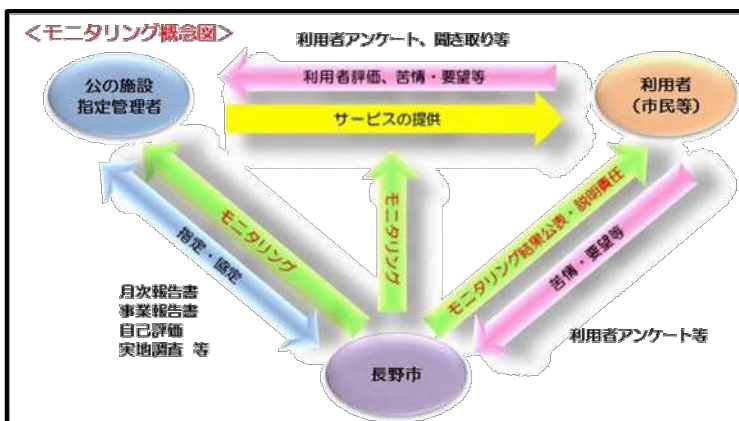
2

【目的】

指定管理施設において、適切かつ確実なサービスの提供が確保されているか等、管理運営状況を、日常的・継続的に評価・確認し、運営上の課題等を発見し、フィードバックすることで、施設の管理運営状況を向上させることで、指定管理者制度の目的(住民サービスの向上・経費の節減等)の達成を図る。

【評価調書の作成】

施設所管課は、毎年度終了後、事業報告書等の内容、利用者アンケート調査及び実地調査等の結果を踏まえ、指定管理者による管理業務が適正に履行されたか、また、安定的かつ継続的な管理が可能な状態にあるかなどを評価し、制度の導入効果を検証するため、モニタリング評価調書を作成する。



【評価項目基準】

- ①指定管理者の健全性
- ②施設の有効活用
- ③利用者評価
- ④事業収支
- ⑤管理運営全般
- ⑥危機管理体制
- ⑦地域連携

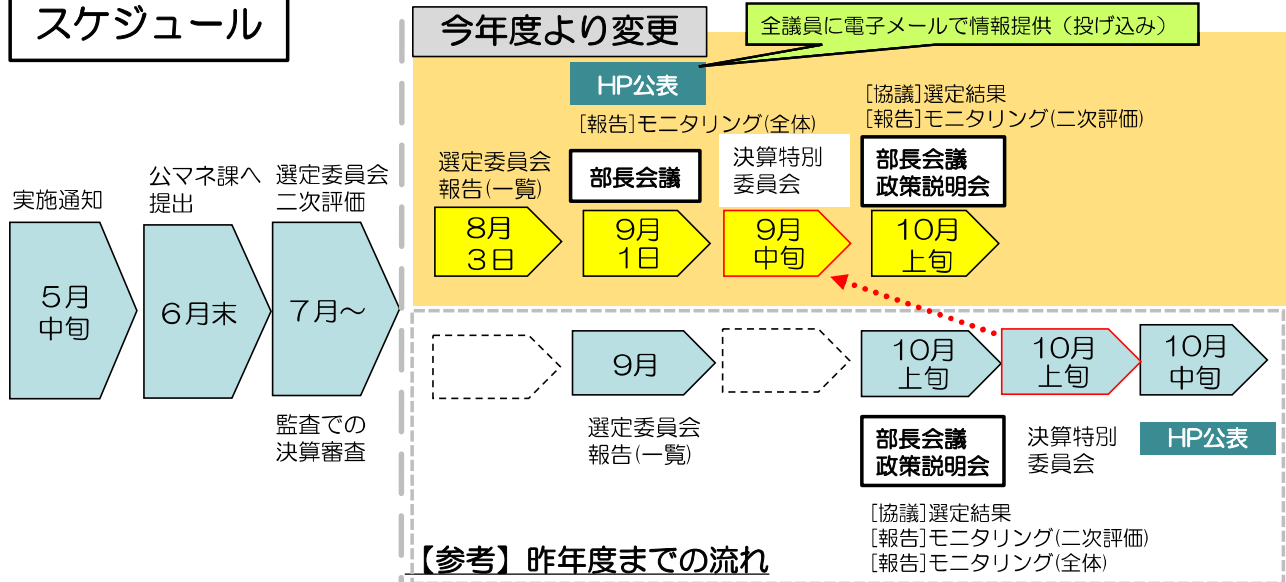
施設所管課は、協定書や事業計画書どおりの管理運営の実施を確認する。必要に応じて施設の立入検査も行い、業務実施状況や現場の労働環境等のチェックを行う。

毎年度のモニタリング評価調書は
長野市ホームページで公表

2 モニタリング評価調書公表時期の変更

- ・今年度より9月市議会定例会での決算審査に変更
- ・決算審査資料として、決算特別委員会へ「モニタリング評価調書」を提出
- ・審査の日程にあわせ、調書の公開が1か月早くなる

スケジュール

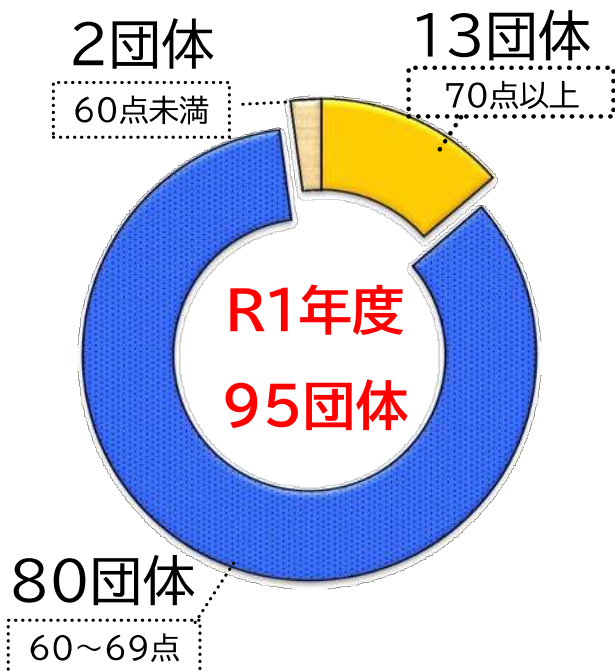


モニタリング公表: 9月1日の部長会議を経て、9月上旬ホームページ公表、議員へ情報提供

3 令和元年度 総合評価結果について (1)

モニタリング評価実施団体数(協定数) / 95団体

標準点=60点



- 標準点(60点)を下回る評価: 2団体
- 2団体を除き、協定書(又は更新選定時の提案)に基づく管理運営が行われていると評価(60点以上)
- その内、13団体で協定書等に基づく管理運営を上回る評価(70点以上)

指定管理者による公の施設の管理運営は、概ね適切かつ的確に実施され、一定水準以上のサービスが提供されている

① 評価の高い施設【指定管理者】(上位7団体)

I もんぜんぱら座こども広場(じゃんけんぽん)【(特非)ながのこどもの城いきいきプロジェクト】	80点
II 大峰斎場、松代斎場【五輪・宮本工業所・グリーン美装グループ】	78点
III 篠ノ井こども広場(このゆびとまれ)【(特非)ワーカーズコープ】	76点
IV 市営駐車場(長野駅東口地下ほか)【アマノマネジメントサービス(株)】	76点
V 地域情報通信施設(戸隠、鬼無里、信州新町、中条)【(株)イノベーション・ネットワーク・コミュニティ】	74点
VI 戸隠観光施設、戸隠牧場【(株)戸隠】	74点
VII 長野運動公園総合運動場、西和田テニスコート【シンコースポーツ(株)】	72点

高い評価となった主な要因[該当施設]

- ・利用者のニーズを的確に把握し、サービス向上の取組みを積極的に実施【I、III、IV、VI】
- ・利用者の要望に対しての迅速に対応【II、V、VI】
- ・指定管理施設の有効活用【I、III、VI】
- ・令和元年東日本台風災害時の被災者支援(被災児童の支援、シャワー室の開放、避難所開設前での適切な受入れや開設時の迅速な対応 など)【I、III、V、VII】

② 60点未満の評価となった施設【指定管理者】(2団体)

◆大岡交流施設大岡温泉【フィールズ】 54点

- 指定管理者の健全性＝評価2(劣る)
10年以上運営・管理に携わってきたが、財政状況等が安定しているとはいえないため、評価を「2」とした。
- 事業収支＝評価2(劣る)
前年度を上回る赤字決算であるため評価を「2」とした。



・今年度より、新たな指定管理者に変更

◆テニスコート(城山、若穂中央公園)【株式会社サンアメニティ】 58点

- 管理運営全般＝評価2(劣る)
各提出書類が期限までに提出されないことが多く評価を「2」とした。
[参考]事業収支＝評価3(普通) ※昨年度からの改善点
⇒2期連続で赤字となっているが、防風ネットを購入するなど積極的に施設の利便性向上に取り組んでいることや通年券購入者等に特典を付与するなど集客に向けて努力をしているため評価を「3」とした。



・書類提出について厳格化するよう指導
・事前予約が不要な施設なので、「テニスをしようと思いついた人」向けに情報提供の頻度を上げるなどの集客につながる取り組み工夫を期待